

(令和7年度) 第1回白山市上下水道料金検討委員会 会議内容

- 1 日 時：令和7年8月29日（金）午後1時30分～午後3時20分
- 2 場 所：白山市役所7階 議会第3会議室
- 3 出席委員：新委員、佛田委員、松本委員、京念委員、藤田委員、池崎委員
- 4 事務局：上下水道部長、企業総務課長、上下水道課長、鶴来自山ろく上下水道課長、企業総務課課長補佐、同課長補佐、同係長

5 会議要旨

発言者	発言要旨
市長	<p>【市長あいさつ】</p> <p>本日は大変お忙しい中、白山市上下水道料金検討委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>本市では、将来にわたりまして、安全でそして強靭で、かつ持続可能な水道事業と快適で安心できる下水道の実現を目指し、水道事業ビジョンや公営企業経営戦略の見直しを進めてまいりました。</p> <p>近年では、全国的に水道管の破裂でございますとか、下水道管の老朽化によります道路の陥没事故、これにつきましては、埼玉県の八潮市で大変、大きな事故で、お一人の命が失われる事故も発生しておりますし、それ以外にも多くの道路陥没事故の情報も出ております。</p> <p>また、自然災害への備えということも必要になってきております。白山市内におきましても、昨年の能登半島地震におきまして、海岸近くの地域では、液状化現象も起きたところもございます。そのようなところで、詳細を調べますと、下水管の中に不具合も見られるということで、その対応も迫られているところでもございます。</p> <p>このように、自然災害等も含めまして、本当に多くの施設の整備でありますとか、また、自然災害への備えということが本市でも例外ではない状態になってるということでございます。</p> <p>また、合併をして、20年が経っておりますが、多くの施設を抱える中で、統廃合、そして合理化にも取り組んでいるところでございますが、物価高騰、そして人口の減少に伴います厳しい経営環境も迫ってきているところでございます。そういう中で施設の老朽化があります。そういう中の維持管理ですか、更新費用の増大が避けられない、目の前に迫ってきているところでもございます。</p> <p>こうした背景を踏まえまして、適正で公正な上下水道料金のあり方について、本年度から約1年をかけて、慎重にご審議をお願いしたいと思ってるところでございます。委員の皆様方には忌憚ないご意見を賜りまして、慎重にご審議いただきますようよろしくお願ひをいたします。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
	<p>【正副委員長選出】</p>

委員長	<p>【委員長あいさつ】</p> <p>私自身も白山市に住んでおりまして、この上下水道の料金については、一市民としても非常に関心の高い、課題、問題であろうかというふうに思っております。</p> <p>今ほどの、市長のご挨拶もありましたように、全国的にもこの上下水道のインフラの老朽化、あるいは、昨年の能登半島地震のような災害に対してのレジリエンス（回復力・復元力）というようなところで、一律に、全国的にも、そして、石川県内では、特に関心が高まったところということでございます。というところで、将来世代に、負担を延ばすのではなくて、我々の世代の中で一つ、将来世代に向けてよい料金体系と言いますか、インフラの補修といったものもしっかりとできるような、そういう料金体系を目指して、皆さんと共に1年間協議させていただきたいと思っております。</p>
市長	【諮詢】
委員長	慎重に審議する。
委員長	<p>協議事項に入りたい。</p> <p>「白山市における上下水道の概要」、次に「公営企業の課題」について事務局から説明をお願いする。</p>
市	<p>【上下水道の概要（別添資料1に基づき説明）】</p> <p>【公営企業の課題（別添資料2に基づき説明）】</p>
委員長	<p>上下水道の現状について、それから公営企業の経営課題ということで、説明があり、既に水道事業ビジョンなどで、これくらいの値上げが必要だろうという、数字はもう出ており、それをパブリックコメントもかけた上で、市民の方の理解といいますか、得られているのかなというご説明だったかと思う。</p> <p>説明の内容が多岐にわたるので、委員の皆さんも1回聞いただけでは、追いつかないところもあるかと思いますが、今のご説明に対して、ご質問とか、ご意見とか、それぞれ頂戴したい。</p>
委員	<p>【質疑】</p> <p>今月の新聞記事に、『旧式の上下水道管1万キロ撤去』について、書かれており、各自治体が財政困難な中でやって行かなければならぬとあった。</p> <p>記事に掲載された写真は、（上下水道の概要についての）資料と同じものだった。市全体では、早急に改修しないといけない管が計画では2kmとのことだが、財源が不足するとのことで進んでいない。下水道を含めるともっとあるのではないか。</p> <p>市全体で改修しないといけない鉄管が、どれだけあるか。</p>

市	鋳鉄管について、普通の鋳鉄管と、ダクタイル鋳鉄管がある。 白山市の下水道圧送管は、ほとんどダクタイル鋳鉄管が使われているが、汚水に酸が含まれるので気をつけている。
委員	水道料金も含めて、市民の安心、安全を守るために配管は、太ければ太いほど、水量も大きくとれるし、大規模な災害等についても消防体制も良くなると思う。しかし、75mmが圧倒的に多い。 現在の配管について、今後、太いものへの布設替えについて、どう考えているか。
市	配水管について、効率的な配水をしていきたいという思いがある。 消火栓については、75mmでも、分岐元の両方が太ければ水量も多くなる。 市としては、規定に基づいて取り付けているが、布設替えにあわせて管径を太くすることについては、給水量が足りないところは対応していかなければならないと考えている。 消火栓は範囲的にも、半径100mに1つ設置している。
委員	緑豊かな白山市だが、市内の歩道にケヤキの植栽が多く、歩道に根が張り盛り上がっている。隣の町内の4軒の下水道管が、ケヤキの根の盛り上がりで壊れた。 物価高騰の折だが、料金値上げはやぶさかではないと思うが、植栽による管の破損の対策についてどうか。
市	ケヤキの根については、下水道管の中に入っている污水が流れにくい事例は多くある。見つけ次第、根を切っているが、追い付かない状況で、順に対応するというのが現状。 美川地域の下水道管の陶管についても、ひび割れが発生しており、不明水として地下水が大量に入り込んでいるため、排水ポンプが余分に多く動いている。 すべての陶管を変えるのは、かなり費用がかかるので、予算をつながら優先順位を決めて対応していきたい。
委員	ダクタイル鋳鉄管について、2種類あると思っていたが、白山市のものは、しっかりしたダクタイル鋳鉄管のものか。
市	白山市のものは、耐震管を使っている。 管自体に抜け止めや、伸縮できるものを使っている。
委員	人口推移の見込みがあるが、令和6年度で、11万1,000人ほどとなっているが、住基ベースか。

市	公営企業経営戦略を見直した際、人口ビジョン数値を参考し、下水道処理区内人口の推移を予想した数値を資料とした。
委員	<p>市総合計画の推計では、既に11万人を切っていた。</p> <p>水道料金の値上げ率についても、9.1%よりも、10%に近い数字でないと、何のために改定について考えてきたのだろうということになると思うので、もっと人口の見込みを厳しくして、上げ幅を考えたら良いと思う。良質で安全な水を飲むために必要な値上げは仕方ない。</p> <p>料金値上げの前に、民間簡易水道の市上水道への接続についても、スピード感を持っていってほしい。</p> <p>能登地震もそうだが、何かあったときには、今まで大丈夫だと思っていたところがもなく崩れることが分かった。P F A S の問題もあり、水質の面でも案じられている。</p> <p>町の簡易水道は、地震が来て管路がズタズタになったら、町の自己資金では立ち直れない。市として、民間簡易水道を接続させるよう積極的に取り込むことが必要だと思う。そうしないと、料金値上げの理解もできない市民も多いと思う。</p> <p>料金の差がかなりあるが、財政規模の脆弱な簡易水道組合に、手を差し伸べる気持ちで、取り組んでいただけたらと思う。</p>
市	<p>民間簡易水道の統合の方針については、基本的には、基幹管路を集落の方に伸ばして、集落内の既存の管路をそのまま使って接続している。</p> <p>民営簡易水道を統合していく中で、加入者負担金は不要だが、メーターボックスの周りを市の仕様にするための負担を、組合にお願いしている。</p> <p>簡易水道の施設が破損したときの改造費の一部について、市が1/3の補助金を出している。</p> <p>簡易水道組合としても、市上水に接続するための蓄えも必要になってくる。市上水につなぐにあたり、一番ネックになっているのは、市の水道料金が高いことだが、簡易水道組合で、接続を希望したところから順次進めていきたいと思っている。</p>
委員	<p>東日本大震災の2年後くらいに、その影響で地域の保育園の飲み水が濁り、水道として不適合となった。そのため、地域に病院等が作れない状態。安全で良質な水を使えるという現代社会で当たり前のことと言えば、市の上水なら安心。</p> <p>水道料金のことを言えば、私の地区では市の上水道料金の1/6しか払っていないと思う。</p>

市	推進していきたいと思っている。
委員	<p>収入と支出が書かれているが、下水道事業（収益的収支）で、一般会計繰入金は、12億8,500万円入っているが、独立採算という概念で考えれば、赤字なのかなと感じた。</p> <p>資本的収支では、国庫補助金、国からの補填ということは、割愛され国から入らないとすれば、収支不足が11億円ではなく17億円になるのではないかと見ていた。</p> <p>物価高騰等もあるが、水道料金改定の議論で、民間企業に置き換えて踏まえた場合、もはや、この決算書、収支バランスを見て何もしないことこそがリスクだと思っている。</p> <p>一方、減価償却費と企業債の償還金額について、同金額になっている。非常にうまい企業債の組み方になっており、バランスの組み方、資金調達が計画的にされていると感じた。</p> <p>料金の収納率について、90%を超えてるのは素晴らしい。職員の方で、デジタル的な収納、コンビニ収納など、裏方で職員の努力によりこの収納率なのだろうと思った。</p> <p>50年後の白山市を見据えて、海、山、川もあり、水の豊かな土地で、良い下水道事業の見直しになるのではないかと思う。</p>
委員長	上下水道料金の県内他市との比較で、現状2番目が、改定後は5番目になる見込みとあるが、ほかの市の動向は。
市	他市の状況について説明
委員長	<p>白山市も動くなら、他の市も検討していくのでは。どこの市町も上げざるを得ないので。</p> <p>今回は、委員それぞれの専門性を活かした良い議論ができたと思う。</p>
	【閉会のあいさつ】